



◎東京都教育委員会の教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

◎各種関連法規、審議会答申

- ・学習指導要領
- ・教育再生実行会議提言
- ・中央教育審議会答申 等



◎大田区教育委員会の教育目標

- 意欲をもって自ら学び、考え、行動する人
- 思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人
- 自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人
 - ・基礎学力を習得する
 - ・豊かな情操と公共の精神を養う
 - ・健やかな身体を育む
 - ・心豊かに生活できる地域社会を実現する

◎おおた教育ビジョン2019～2023

- 「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」
1. 未来社会を創造的に生きる【未来】
 2. 学力の向上【知】
 3. 豊かな心の育成【徳】
 4. 体力の向上と健康の増進【体】
 5. 魅力ある教育環境づくり【学校】
 6. 学校・家庭・地域の連携、協働

◎学校の教育目標

すべての教育活動において人権尊重の精神を基調とし、知性と感性および、健全な心と体力を育み、平和な国際社会を築く人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定します。

ア よく考えやりぬく子【知・自立】

○自らすすんで学び、よく考えて、最後まであきらめずに目標を達成する子供を育てる。

イ 心豊かでやさしい子【徳・共生】

○豊かな情操と思いやりにあふれ、共に助け合い支え合うことができる子供を育てる。

ウ 健やかでたくましい子【体・健全】

○心と体が健康で、何ごとにも意欲と誠意をもち、力強く取り組む子供を育てる。

教育目標の具現化に向けて(本校の教育の特色と指導の重点)

◆学力の向上に向けて	◆人間力の育成に向けて	◆地域力の導入に向けて
◎個別最適な学びと協働的な学びの実現 ○習熟度別少人数指導・補充学習の充実 ○週2回のモジュールの活用 ・国語と算数の基礎・基本の定着 ○学習に関するスタンダードの定着 ・学習のきまりや学習方法等 ○「読む・書く・話す」力を高める指導の充実 ・大田区小学生漢字検定(2回) ○読解力や資料を活用する能力の伸長 ・読書活動の充実、学校図書館の活用 ○学習カウンセリングの有効活用 ○問題解決型の授業の重視 ・ICT機器の活用 ・STEAM教育の重視 ○キャリア教育等の推進	◎健やかな体の育成と豊かな心の育成 ○持久力や敏捷性の育成と体力の向上 ・学期ごとに持久走や短縄を取り入れる ○「体力・運動能力調査」等の活用 ・結果分析に基づく体育科の授業改善 ○基本的な生活習慣の形成 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組 ・「食育」指導、保健指導の推進 ○道徳教育の充実(全教育活動を通して) ・「特別の教科 道徳」の授業改善 ○特別支援教育、国際理解教育の推進 ・自他を尊重し主体的に生きる態度の育成 ○異学年交流の充実 ・児童集会や縦割り班活動等の推進 ○プロジェクト型学級活動を柱とした集団作り ○全校体制による生活指導の推進	◎「開かれた学校」づくりの推進 ○人権教育の推進 ・東京都教育委員会人権尊重教育推進校 ・本校の実践を他校の教員や地域に広める ○土曜授業公開(年3回)の実施 ○学校関係者評価を生かした学校改善 ・地域教育連絡協議会との連携 ○PTA・地域と取り組む健全育成 ○学校支援地域本部の協力を得た活動 ・朝遊び、読み聞かせ、夏のわくわくスクール ○地域の施設や人材を活用した、体験的な教育活動の推進 ・安全マップ作りや工場見学等 ○保幼小連携や小中一貫教育等の充実 ・授業改善、健全育成に向けた情報交換 ○関係諸機関との連携強化

学校経営の基本方針

◎安心して子供を預けられる環境づくり ◎信頼に基づいた教育活動の推進

1. 「チーム蒲田小」で社会状況の変化、多様性、様々な教育課題、危機管理等に対応する。

- 教員としての資質・能力を向上させる。
 - ・学団会、OJTを活用した指導技術の伝承(学習指導、授業改善推進プラン、生活指導、ICT機器の活用等)
 - ・年次研修、都や区の研修会(OFF-JT)を活用した指導力の向上
- 教育活動への理解が深まるよう情報発信するとともに、家庭・地域と一体となって子供を育てる。

2. 一人一人が輝く場面を大切にする。～児童理解に基づいた指導の充実～

- 子供が「楽しい」「分かった」「できた」等、実感できる教育活動を計画的に実践する。
- 児童理解に基づいた指導の在り方や授業改善に向けた校内研究、研修を充実させる。
- 働き方改革を推進し、子供と元気に接したり、寄り添ったり、向き合ったりする時間をつくる。

3. 安心安全な環境づくりを推進する。

- 教職員の危機管理意識を高め、安全指導・安全点検を徹底する。
- あらゆるいじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に向け、迅速かつ組織的に対応する。
- メンタルヘルスチェックや学級集団調査(Web QU)等を活用し、教育相談機能の充実を図る。